

かがやきだより vol.34

今月のテーマは「風しん」です

風しんとは？

風しんは、1人がかかると5～7人にうつす強い感染力があり、高熱、発疹など症状が現れます。特に、大人が感染した場合、高熱、発疹の長期化、強い関節痛などの症状が現れる場合もあり、子供の感染に比べて重症化する可能性が非常に高いです。また、風しんに対する免疫が不十分である妊娠初期の妊婦さんが感染すると、心臓、目、耳などに障がいをもつ先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれることがあります。妊婦さんは予防接種が受けられないため、社会全体で感染予防に努める必要があります。

大人が風しんに感染すると…



昭和 37 年度から昭和 53 年度生まれの男性は風しんの抗体検査を受けましょう

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ（43歳～60歳）の男性は、過去に一度も公的な予防接種が行われていません。

そのため対象者には、市から、風しん抗体検査・予防接種費用の全額助成クーポン券を送付しています。

令和4年7月現在、対象者の約70%が風しん抗体検査を行っていません。風しんにかかり、家族や周囲の人々に感染を広げてしまうことがないように、まずは抗体検査を受けましょう。

※風しんの追加的対策の詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

※クーポン券紛失等で再発行を行っています。希望される方は問い合わせ先までご連絡ください。



◀厚生労働省HP
「風しんの追加的対策」

■問い合わせ■ 総合保健福祉センター「かがやき」内 健康推進課 電話：54-7121

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況

